

令和5年度 第2回 大清水中学校 学校運営協議会

日時 2023年7月13日(木) 13:30～

場所 大清水中学校 相談室

司会 古谷(教務主任) 記録 山下(教頭)

1 開会 会長挨拶 生徒会本部の発表、懇談を楽しみにしている。

2 学校長挨拶

学校運営協議会において、学校を知ってもらうことは大きな目的のひとつ。今日は学校の自治活動として生徒会本部役員が様々な行事を運営している様子を知っていただき意義ある時間としたい。また、他にも各学年では、様々な行事を行った。1年では安全学習としてライフセーバーから海の安全について学んだ。また、2年では「学び場ジュニア」として、外部の方を講師としてお招きし、様々な分野の仕事について学びキャリア教育の一環となった。

3 生徒会本部より 本部役員自己紹介 活動報告

挨拶運動、「Stop! いじめ」(いじめ防止活動)参加報告、清流祭(リトルカーニバル)、3校交流など、生徒会の熱心な活動の紹介が多くあり、学校運営競技委員から活発な質問や意見交換があった。また、どんな学校を作りたいか、等の質問や、コロナ後の行事を盛り上げるための提案などがあった。

4 部活動見学 時間の不足により次回へ

5 ◆学校長より

○全国的な問題ではあるが、不登校生徒対応が学校の課題となっている。本校では授業のライブ配信によるリモート授業等を行っている。不登校生徒への学習支援として、別室での学習指導員による予算が市からついたこともあり、お知らせしているところである。

○部活動地域移行 本市としての取組について説明。本校でも今後の課題である。

○働き方改革 小規模校のため、職員一人当たりの校務分掌が多い。1・2年生における数学・英語での少人数授業の教育課程を実施し、教科による加配もあるが、これからも働き方改革を進めていく。

○その他

- ・小規模校だからこそ、本校では職員同士のチームワークがよく、様々な場面で子どもたちに寄り添いながら生徒支援・生徒指導にあたっている。
- ・特別支援学級が開校して3年目、学校全体で組織的な対応を行っている。
- ・校内で会議のできる場所がなく困っている。

◆会長から

地域との関わりでは、多くの特別支援学級が米作りに関わっており、地域として盛り上がっている（こめこめクラブ）。冬のクラフトをFプレイスで大清水中、一中等特別支援級の生徒を対象として実施した。子どもたちも大人も楽しんでくれた。たくさんの申込があり、今後も課外活動のひとつとして地域が盛り上げて行けたらと思う。

◆委員より

○生徒会本部の話が聞いてよかった。またこのような機会があるとよい。

○部活説明会は行われているか？

→5月に行われている。今年度からクラブチームが中体連の大会に出場が認められており、クラブチームからの出場もできる。

○教員の働き方改革について、民間では時間外勤務が20時間を超えると上司に呼ばれて指導を受ける。県立高校は職員が80時間を超えると管理職が注意を受ける。学校施設管理員が19時30分には施錠するため、職員は帰宅する。参考までに、愛媛大学の調査協力のため、松山市の小学校で5時で職員が一斉に帰る、という試みをした。その調査では、5時に一斉退勤したときは、職員間のコミュニケーションがとりにくくなった、という結果が出た。その後、一斉下校を解除したら、児童の話や趣味、家族の話など、話をすることで学校が活性化するという調査結果が出た。コミュニケーションする時間を確保しつつ、働き方改革を進められたらよい。

○安全面の確保のために、大清水中グラウンドから高校へつながる扉があるとよい。【市へ】

○小学校が英語の指導に困っているときいて、高校の教員が交流に行くということを検討中。

○生徒会本部の活動で中高連携に取り組んでいけるとよい。

今後もこのロケーションを生かして、さまざまなことを実施していきましょう。

6 その他 なし

7 閉会

今年度の会議日程（予定）

第3回 9月15日（金）12:30～給食の喫食を検討中、8月下旬にお知らせ。

第4回 12月18日（月）15:30～16:30

第5回 2024年 2月16日（金）15:30～16:30